

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	愛知産業大学短期大学
設置者名	学校法人 愛知産業大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門科目	合計		
通信教育部	国際コミュニケーション学科	夜・通信			10	10	7	
	専攻科 国際コミュニケーション専攻	夜・通信			8	8	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

公表方法：本学のホームページで公表
<https://www.aisan-tsukyo.jp/tandai/about/info>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	愛知産業大学短期大学
設置者名	学校法人 愛知産業大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本法人のホームページで公表 http://www.asu-g.jp/index.php/yakuin/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士	2020.4.1～ 2022.3.31	財務
非常勤	クロスプラス株式会社 相談役	2020.4.6～ 2022.4.5	コンプライアンス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	愛知産業大学短期大学
設置者名	学校法人 愛知産業大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
【授業計画書(シラバス)の作成過程】	
1 1月 シラバス作成のFDの実施 1 2月 LMS(学習管理システム)に教員が担当科目のシラバスを入力 1 月 自己点検・評価委員会によるシラバスチェック	
【授業計画書の作成・公表時期】	
3月 LMSによるシラバス公開	
授業計画書の公表方法	公表方法：本学のホームページで公表 https://online.asu.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
授業計画書(シラバス)に記載の「達成目標」、「目的」、「評価方法(学習過程評価)(学習成果評価)」及び学内規程「試験及び成績評価に関する規程」に基づき、試験の実施、成績評価、単位認定を厳格かつ適正に実施している。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 学内規程「GPAに関する細則」に定める、次の方法により算出し、成績の分布状況を把握している。 【配点】 各授業科目の5段階の成績評価に対して、4～0の評点（グレード・ポイント。以下「GP」という）を100点満点で評価された成績の段階ごとにGPを配点する。 【対象授業科目】 GPA算出の対象となる授業科目は、全ての科目とする。但し、認定（N）評価を受けた科目を除く。 【GPAの種類と計算方法】 (1) 学期GPA＝((当該学期において履修登録した各授業科目の単位数×各授業科目のGP)の和／当該学期において履修登録した各授業科目の単位数の和) (2) 年度GPA＝((当該年度において履修登録した各授業科目の単位数×各授業科目のGP)の和／当該年度において履修登録した各授業科目の単位数の和) (3) 通算GPA＝((全学期において履修登録した各授業科目の単位数×各授業科目のGP)の和／全学期において履修登録した各授業科目の単位数の和)	
客観的な指標の算出方法の公表方法	公表方法：本学のホームページで公表 https://www.aisan-tsukyo.jp/tandai/about/info
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 【卒業の認定に関する方針の具体的な内容】 国際コミュニケーション学科は、本学が定める修業年限や卒業要件を満たし、英語等の語学力、日本語教育、コミュニケーション、あるいは日本を含めたさまざまな国の文化や歴史など、国際コミュニケーションに必要な多様な知識、国際的に活躍できる知識とスキルを身につけた学生に対し、「短期大学士（文学）」を授与する。 【卒業要件】 本学を卒業するための要件は、次の各号を充足するものとする。 一 本学学則第29条の規定に基づき、本学に2年以上在学し、学則別表2に定めるところにより卒業に必要な62単位以上を修得していること。 二 学則別表2に定めるところに従い、必修授業科目のすべてについて履修し、単位を修得していること。 三 卒業期までに必要な授業料等学納金のすべてについて納入を完了していること。 【卒業の認定に関する方針の適切な実施状況】 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、学生の修得単位数、卒業要件等を踏まえ、卒業要件を具備した者については、教務委員会、及び教授会の審議を経て、学長が卒業を認定している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	愛知産業大学短期大学
設置者名	学校法人 愛知産業大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	公表方法：本法人のホームページで公表 https://asu-g.jp/index.php/zaimu/
収支計算書又は損益計算書	公表方法：本法人のホームページで公表 https://asu-g.jp/index.php/zaimu/
財産目録	公表方法：本法人のホームページで公表 https://asu-g.jp/index.php/zaimu/
事業報告書	公表方法：本法人のホームページで公表 https://asu-g.jp/index.php/jigyo/
監事による監査報告（書）	公表方法：本法人のホームページで公表 https://asu-g.jp/index.php/zaimu/

2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：_____）	対象年度：_____）
公表方法：_____	
中長期計画（名称：_____）	対象年度：_____）
公表方法：_____	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：本学のホームページで公表 https://www.aisan-tsukyo.jp/tandai/about/info
--

(2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：本学のホームページで公表 https://www.aisan-tsukyo.jp/tandai/about/info
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 国際コミュニケーション学科
教育研究上の目的（公表方法：本学のホームページで公表 https://www.aisan-tsukyo.jp/tandai/about/info ）
（概要） 本学は教育基本法と学校教育法に基づき、一般教養および専門の学問、技術を教授研究し、実社会に適応できる豊かな人間性と創造性を備えた人材を育成し、もって地域社会の教育、学術文化ならびに産業の発展に寄与することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学のホームページで公表 https://www.aisan-tsukyo.jp/tandai/about/info ）
（概要） 国際コミュニケーション学科は、本学が定める修業年限や卒業要件を満たし、英語等の語学力、日本語教育、コミュニケーション、あるいは日本を含めたさまざまな国の文化や歴史など、国際コミュニケーションに必要な多様な知識、国際的に活躍できる知識とスキルを身につけた学生に対し、「短期大学士（文学）」を授与します。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学のホームページで公表 https://www.aisan-tsukyo.jp/tandai/about/info ）
（概要） 多様化・複雑化する国際社会の動向をふまえ、国際的に活躍できる人材を育てるという教育研究の目的を達成するために、主に「実用英語」、「英語教員養成」、「ネイティブ・イングリッシュ」、「日本語教育」、「子ども」、「心理」、の 6 つの視点に対応する履修モデルごとに、学生が自身の関心に応じて学べるように科目群を編成し、最大限の教育効果を上げるよう実施します。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学のホームページで公表 https://www.aisan-tsukyo.jp/tandai/about/info ）
（概要） 英語等の語学力、日本語教育、コミュニケーション、あるいは日本を含めたさまざまな国の文化や歴史など、国際コミュニケーションに必要な多様な知識を教授し、国際的に活躍できる人材を育成するという国際コミュニケーション学科の教育目的を理解し、「自ら求め、自ら学ぶ」学習、即ち通信教育における「自立学習の重要性」を自覚し、積極的に学習に取り組もうとする意欲ある者を受け入れます。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学のホームページで公表 https://www.aisan-tsukyo.jp/tandai/about/info
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・ 副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	人	—					人
国際コミュニケーション学科	—	3 人	4 人	1 人	人	人	8 人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1 人		48 人					49 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
国際コミュニケーション学科	600人	271人	45%	1200人	850人	71%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	600人	271人	45%	1200人	850人	71%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
国際コミュニケーション学科	286人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	286人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
通信教育部のみの設置の為、就職者数は不明				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
【授業計画書（シラバス）の作成過程】
1 1 月 シラバス作成のFDの実施
1 2 月 LMS（学習管理システム）に教員が担当科目のシラバスを入力
1 月 自己点検・評価委員会によるシラバスチェック
【授業計画書の作成・公表時期】
3 月 LMSによるシラバス公開

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
授業計画書（シラバス）に記載の「達成目標」、「概要」、「評価方法（学習過程評価）（学習成果評価）」、及び学内規程「試験及び成績評価に関する規程」に基づき、試験の実施、成績評価、単位認定を厳格かつ適正に実施している。				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
通信教育部	国際コミュニケーション 学科	62 単位	☒ 有・無	45 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：本学のホームページで公表 https://www.aisan-tsukyo.jp/tandai/about/info		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：本学のホームページで公表 https://www.aisan-tsukyo.jp/tandai/about/info		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学のホームページで公表 https://www.aisan-tsukyo.jp/tandai/about/info
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
通信教育部	国際コミュニケーション学科	196,000 円	20,000 円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) ・入学オリエンテーションを行い、各種手続き方法や留意点について理解し、また、学習を開始するにあたっての不安や疑問を解消できるよう名古屋、東京、大阪の会場にて実施している。 ・学生の修学を支援するため、名古屋スクーリング会場および東京スクーリング会場にて毎月1回自由参加方式による学習会を開催している。 ・最終学年の正科生を対象に、学芸、人物ともに優秀な学生を奨励することを目的に奨学金を給付し支援している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 3年次編入学の開拓及び指導の実施。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生相談室を設置。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学のホームページで公表 https://www.aisan-tsukyo.jp/tandai/about/info

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F223310107021
学校名	愛知産業大学短期大学
設置者名	学校法人愛知産業大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
内 訳	第Ⅰ区分	0人	－	
	第Ⅱ区分	0人	－	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（1）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

（2）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下）	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計			
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期	
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人	0人
(備考)				

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。